



今年8回を数えるTOYAKOマンガ・アニメフェスタは、昨年5万3千人が来場し、洞爺湖の一大イベントとして定着してきています。期間中、多くのアニメファンやコスプレヤーらで賑わう

お店の一つが老舗土産店「洞爺湖越後屋」。同店の3代目店主が進一さんで、いつも笑顔でお客さんを迎えています。

洞爺湖町 地域おこし協力隊
地域おこし協力隊 出会った素敵な人紹介
洞爺湖の一大イベント
「TOYAKO マンガ・アニメフェスタ」を支える
(株)越後屋デパート代表取締役
越 後 進 一 さん
(温泉4区)

祖父の代に温泉街に移り住み、芸者さんや料理人らへの呉服店として商売を始め、二代目の父から観光業へ参入。店内には北海道ならではのお土産はもちろん、サービスの一環として、約30年以上前から続けているという木刀への手彫りは、洞爺湖を訪れる方の人気商品となりました。自らも店頭で文字を彫る進一さんですが、リクエストの文字の中でも、特に小学生の発想が面白く、「彫っていて楽しいし、何より文字を彫ることでお客さんに喜んでもらえることが嬉しい」と笑顔で話

します。ある日マンガの登場人物のコスプレをした女性たちが来店し、熱心なマンガ愛読者ではなかった進一さんですが、彼女たちを見たその時、純粋に「カッコいい」と思うと同時にマンガに木刀が取り上げられたことを初めて知りました。洞爺湖のお祭りの日にコスプレをした彼女たちが再び来店し、他のお祭り客の彼女たちへの反応などを見て、仲間の中で「マンガやアニメのお祭りで町おこしが出来るのではないか」ということが話題になりました。そのアイデアが広がり、町の有志たちによる「TOYAKOマンガ・アニメフェスタ」という大きなイベントが現実化していきま

現在同フェスタの実行委員として活動する進一さんは、「これからも洞爺湖だから出来ることをいかして町を盛り上げたい。洞爺湖にもっと足を運んで欲しい」と洞爺湖愛を熱く語ります。

(丹野大樹)

東奔西走

5月の一大イベント洞爺湖マラソン。取材している中でボランティアの皆さんが、拍手でランナーを元気づける姿や「お疲れ様でした」とランナーに笑顔で声をかける姿を多く見ました。ボランティアの皆さんのおもてなしの心が多くの洞爺湖マラソンファンを生み出している秘訣の1つだと実感しました。(H.S)

人口と世帯の動き 4月30日現在(先月比)

男	4,269人 (+23)
女	4,904人 (+33)
計	9,173人 (+56)
世帯	5,001世帯 (+44)

今月のワンショット



校舎敷地内の花壇整備に取り組んだ友遊クラブ会員と洞爺湖温泉小学校の児童たち